

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

レミゾラム TIVA・フルマゼニル拮抗症例におけるグラニセトロンとオンダンセトロンの術後悪心・嘔吐予防効果の比較－後ろ向きコホート研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2026 年 1 月から 2026 年 7 月までの間に、昭和医科大学歯科病院 歯科麻酔科で、レミゾラムを用いた全身麻酔を受けられ、麻酔からの覚醒時にフルマゼニルというお薬を使用した患者さん

2. 研究目的・方法

当科では、全身麻酔の際にレミゾラムというお薬を使用し、手術終了後に目を覚ます際にフルマゼニルというお薬でその効果を打ち消す方法を行うことがあります。この方法で全身麻酔を受けられた患者さんの中には、手術後の吐き気や嘔吐（術後悪心・嘔吐）を予防するお薬として、グラニセトロンまたはオンダンセトロンのいずれかを使用された方がいらっしゃいます。

本研究では、これまでの診療記録をもとに、この 2 種類のお薬で手術後の吐き気・嘔吐の予防効果に違いがあるかどうかを調べます。本研究のために新たな検査やお薬の投与、追加の通院などをお願いすることは一切なく、すでに診療記録として得られている情報のみを使用いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、ASA 分類（全身状態の分類）、喫煙歴、乗り物酔いの経験の有無、手術後の吐き気・嘔吐の経験の有無、手術後に医療用麻薬性鎮痛薬を使用する予定の有無、吐き気・嘔吐の起こりやすさを表す指標（Apfel スコア）、手術の種類、手術時間、麻酔時間、レミゾラムの投与量、フルマゼニルの投与量、鎮痛薬（レミフェンタニル、フェンタニル）の投与量、手術中の血圧低下の有無、手術中の点滴量、手術中の出血量、吐き気止めの種類・投与量、手術後の吐き気・嘔吐の有無とその時間帯、追加の吐き気止めの使用の有無とその内容

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学歯科病院	込山 紗也香
研究分担者	昭和医科大学歯科病院	生方 雄平
	昭和医科大学歯科病院	菊地 弘晃
	昭和医科大学歯科病院	佐藤 里香
	昭和医科大学歯科病院	田窪 華奈
	昭和医科大学歯科病院	西原 理恵
	昭和医科大学歯科病院	菊地 大輔
	昭和医科大学歯科病院	西田 梨恵
	昭和医科大学歯科病院	立川 哲史
	昭和医科大学歯科病院	増田 陸雄

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学歯科病院 歯科麻酔科 氏名：込山 紗也香

住所：東京都大田区北千束 2 丁目 1-1 電話番号：070-6406-1484